

2020年度 北海道大学大学院 文学院修士課程入学試験（後期）

試験区分	<input checked="" type="checkbox"/> 一般入試 <input type="checkbox"/> 外国人留学生特別入試 <input type="checkbox"/> 社会人特別入試（後期のみ）
試験科目名	<input checked="" type="checkbox"/> 専門試験（日本古典文化論） <input type="checkbox"/> 共通外国語（）
出題の意図	問題一は、日本古典文学・文化研究に関わる分野から、その文学史・文化史的、あるいは、文献学・国語史的問題に関する理解と知識を質すとともに、文章読解能力および論述能力をもあわせみるものである。 問題二は、日本古典文学研究の根幹となる作品読解能力を問うものである。また、原資料を取り扱う能力をみるために変体仮名の翻字も課す。

2020年度
北海道大学大学院文学院修士課程入学試験問題（後期）
(専門試験) 日本古典文化論 全3枚のうち1枚目

この試験では、試験問題 3枚、解答用紙 2枚を配付する。

問題一

次の文章は鈴木宏子『「古今和歌集」の創造力』の一節である。これを読んで自分自身の古典に対する関心に合わせて自由に意見を述べよ。

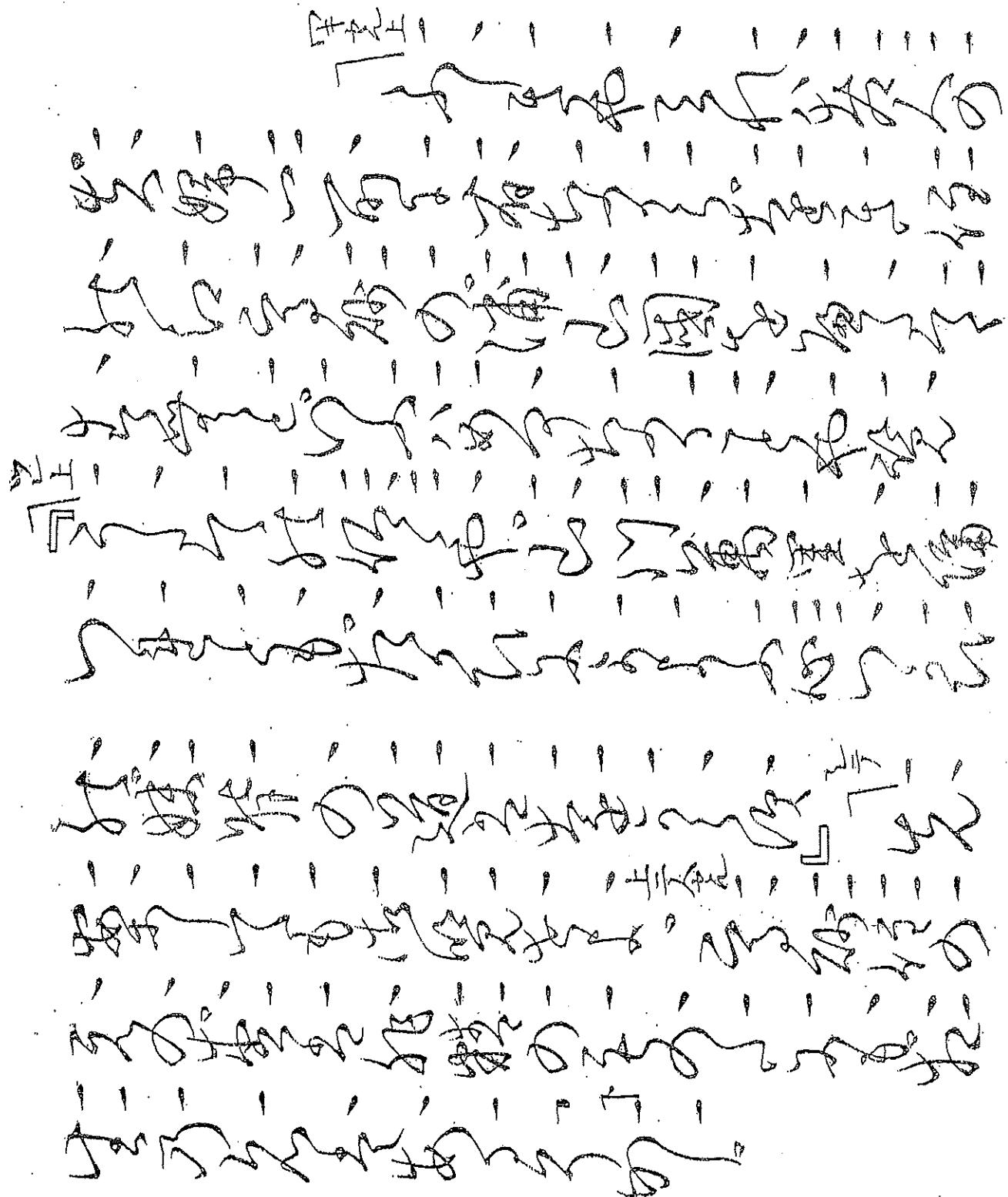
* 問題本文は著作権法上の理由から「」のホームページに掲載するにはできませんので、左記の出典箇所を参照するか、文学事務部教務担当の窓口で閲覧してください。

出典 鈴木宏子『「古今和歌集」の創造力』(EIKI出版、11018年、一八六二一八九頁)

2020年度（後期） 日本古典文化論 全3枚のうち2枚目

問題二

次の文献を見て、後の設問に答えてよ。



問一 右文献に付した『』の文字部分を、適宜濁点を付して翻字せよ。

問二 右文献はいわゆる「夢幻能」とされる曲の一節である。作品名を答え、その上で各自の関心に沿ったテーマを設定し、自由に論述せよ。